



一本松まちづくりひろば

発行：一本松まちづくり協議会 発行責任者 米岡美智枝

平成20年度は「災害に強い街づくり」を目指し横浜市より事業費助成を頂きました。

- 「かまどベンチ」2基、
 - 「雨水貯留タンク200ℓ」2箇所
 - 「既存井戸補強整備」1箇所、
 - 「雨水浸透型舗装」1箇所、
 - 総計172万7975円
(内協議会負担12万1285円)
- の事業を完成しました。



横浜で初めて設置された「かまどベンチ」ベンチ部分を外すと廻になります。(西戸部二丁目公園内)

200ℓの雨水タンク2基(両町内に1基づつ)設置しました。



雨水浸透型舗装、工事は自分たちでしました。一時避難場所・休憩所に活用。羽沢西部自治会内の小さいけど唯一の貴重な空き地です。



休止していた井戸を生活水確保用に復活しました。平常時は水撒きなどに広く活用。

【羽沢西部自治会地域】

平成21年度も安心安全な街を目指して一歩一歩前進してゆきます。生活水確保の為既設井戸の整備は毎年1箇所をメドに進めます。避難路を確保するために、道路整備のあらゆる可能性を考慮・検討して行きます。

【西戸部二丁目第一自治会地域】

今年度は、災害時に備えて、西戸部二丁目公園を防災広場として、更に充実させてゆきます。雨水の有効利用を町内に広めてゆきます。

平成21年度事業内容

- ①復活した井戸周辺の雨水浸透型舗装(材料費のみ)
(羽沢西部で復活した井戸の周辺を舗装整備します。)
- ②雨水貯留タンク設置(200ℓ)2基 500ℓ1基
(西戸部二丁目と第4地区会館に設置します)
- ③井戸整備 1箇所
(羽沢西部自治会内に新たに掘ります)

総工事費151万6725円
(協議会負担金15万1673円)

事業費助成を受けたこの事業は、横浜市の第1号の事例として市内外から注目をされ、救団体が見学に見えました。その様子を次ページで紹介いたします。

●平成21年度 定期総会並びに第1回まちづくり検討会開催●

去る6月7日(日)、一本松小学校図書室において両自治会のまちづくり委員38名のほか、地域の方、行政、支援団体の方々出席のもと総会並びに検討会が開催されました。第一部総会では、1号議案から5号議案まですべて承認可決されました。また、第2部の第1回検討会が実施され、生態空間研究所 黒井氏より「防災まちづくり計画」の再認識及び各種制度についての説明と、まちづくりコーディネーター山路氏の解説が行われ、20年度実績と21年度計画の再認識をしました。耐震診断結果及び耐震改修・狭隘道路の拡幅に向けた取り組みについても、横浜まちづくりセンター 佐藤氏並びに(市)まちづくり調整局 桜井氏より説明があり、今後の課題理解に参考にようになりました。

一本松まちづくり協議会 「防災まちづくり計画」

市と地域が協働して10年~20年(長期間)掛けて取り組む15のプランがこの中に組み込まれていますが、緊急性、重要性を考慮し今年度は次のプランから取り組みを始めます。

① 協議会として両自治会の協働事業

- ★防災防犯上の空き家の危険性を考え解決を図る
- ★雨水タンクの普及を推進する
- ★必要に応じて「講演会」「研修会」「先進事例見学会」等を企画実施する
- ★住民への意識啓発事業として「まちづくりニュース」を発行する

② 両自治会が個々に取り組みます

- (羽沢西部) △狭隘道路の拡幅工事 △現存する井戸の発掘と活用
- (西戸部2-1) △一時三三防災ひろばの充実を図る △わくわく広場に防災器具の設置を推進

各プランの取り組みは町内の皆様プロジェクトチームに参加していただき進めて行く事をおんがしております。募集時には大勢の皆様のお声をお待ちしております。

【平成21・22年度まちづくり委員の紹介】

*[]内は協議会役職を示す。

羽沢西部自治会		西戸部二丁目第一自治会	
No	氏名	No	氏名
1	米岡 美智枝(会長)	12	酒戸 満知子
2	八木下 実(副会長)	13	川村 美江
3	菊野 史明(事務局長)	14	木部 久子
4	田中 真理世(事務局長)	15	村上 圭三
5	芝山 昂子(会計)	16	長嶋 晋代
6	冠井 優子	17	柳 崇孝
7	川崎 美鈴	18	大塚 洋一
8	渡田 昭男	19	中野 正二
9	竜崎 克己	20	松川 尚人
10	渡瀬 喜久	21	杉山 恵子
11	市村 美代子	22	
		No	氏名
		1	杉山 邦彦(副会長)
		2	稲葉 高久(事務局長)
		3	井上 富美(事務局長)
		4	塚井 光子(会計)
		5	高橋 明
		6	高橋 宏
		7	奥山 孝
		8	横田 昭前
		9	佐藤 謙吾
		10	南宮 昭次
		11	金子 英治
		12	大島 綾子
		13	赤司 久仁子
		14	鎌島 千代子
		15	和田 和子
		16	鈴木 美智子
		17	船川 育子
		18	西川 千尋子
		19	加藤 緑
		20	近藤 和江

「まちづくりのルール」の検討をはじめました!

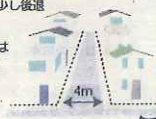
一本松まちづくり協議会では、平成20年7月に「防災まちづくり計画」を策定しました(※1)。この計画を検討する中で、防災まちづくりをより確かなものとするために地区の一人一人が守るルールが必要という意見も出ました。そこで、「防災まちづくり計画」に、「プラン15 地域のいづつりのルール、まちづくりのルールをつくります。」を盛り込んでいます。これを受け、今年度から具体的に「まちづくりのルール」を「地区計画」(※2)として定めていく検討をはじめました。

「防災まちづくり計画」の将来像



「まちづくりのルール」の例

ルールの例：主要な避難経路づくりのルール
安全な避難経路、延焼を防ぐ空間としての性能を確保する(防火性能の高い建物で壁をつくり、外壁も少し後退させる等)。
また、交差点は隅切り整備を行う。



ルールの例：広場の整備

地区の防災拠点となる広場を整備する。その際、広場への避難経路を確保する。



※広場の縦横について協議会としては、防災まちづくり計画に「ミニ防災広場」として位置付けられている国土交通省管轄(野毛山荘)等の用地を想定しています。
なお、当該用地については、地区計画に位置付けていくことを検討するとともに、将来売却される場合には、横浜市に取得を働きかけていきたいと考えています。

※1 「防災まちづくり計画」は、市条例に基づき「地域まちづくりプラン」として、市に認定されたものです。
※2 地域の特性に応じまちづくりを誘導する都市計画法上のルールで、横浜市が決定します。今後は、話し合いの場を設けたりアンケートを実施したりしながら、土地所有者等の地域の皆さんの合意を形成した上で、地区計画法をまちづくり協議会から市へ提案することを想定しています。

多くの「防災まちづくり」を目指す団体から熱い視線が注がれています

①4月24日(金) 東久保町「夢まちづくり協議会」の皆様が見学に見えました

4月に西戸部二丁目第一自治会と羽沢西部自治会の整備場所を見学させていただきました。公園のせせらぎやかまどベンチ、雨水タンク、わくわく広場等とても良く整備されていて勉強になりました。又役員の皆様の団結力が印象に残っております。我々自治会も一歩遅れて頑張って行きますので又お会いする日を楽しみにしています。 東久保夢まちづくり協議会 会長 和田 泰次



*西戸部二丁目公園で和田会長に「かまどベンチ」を説明する斉藤前会長

②2月22日(日)「さわやか港南」西二へ

路地を歩きながら、案内してくださる温かな人柄とチームワークの良さをとても感じました。街は人の心で作って行くものだと思います。充実した一日を過ごさせていただき感謝しております。「さわやか港南」にもどうぞお出掛け頂ければ幸いです。

地域の居場所「さわやか港南」 川辺裕子

是非見学させてください



私たちの町本郷町3丁目地区は一本松まちづくり協議会と非常によく似た町だと実際に見学をさせて貰ってその感がますます強く感じました。あの狭隘の道路をいかに効率よく空き地を作り、井戸を作り、雨水を有効に活用して災害時の防火に役立て平時には草花の水遣りに道路への散水によるエコにも利用して色々なめんで参考になりました。それはそれとして道路の面について所々でセットバックが出来ていてその後の個人の利用をしていない事、わが町ではセットバックした後に駐車場にしたり、花を植えたりするような所が多々ありますが、それが無いのに感心しました。如何に住民の方々の防災意識が強いかが感じました。

ただ非常に感じた事は災害時の一時避難場所に使われると思われる公園までの通路がどうなるのかと、一寸心配になりました。もう少し空き地が欲しいですね。

地域の悲願です

③住みよいまち 本郷町3丁目地区協議会
見学後の意見交換会の様子(於第4地区会館)



平成21年9月26日(土)14時~16時の予定で、「本郷町3丁目地区協議会」の方々が我協議会へ見学に見えました。前半は2班に分かれていただき、両自治会内のまちづくり協議会の事業を見て頂きました。

後半は、狭い道路、坂・階段、崖地等、同じ、様々な問題を抱えつつ、「災害に強いまちづくり」を目指す者同士、打ち解けた雰囲気の中、有意義な意見交換が出来ました。